

ぐんまの寺社魅力発掘・発信事業 調査完了記念講演会 「寺社建築から地域文化の未来を探る」の開催について

県では、近世を中心とした寺院・神社のうち、優れた彫刻や彩色などの装飾が目立つ建造物や、そこに所在する文化財について、3か年調査を行い、令和4年3月にその成果をまとめた報告書を刊行しました。

この群馬県近世寺社総合調査の完了を記念して、その成果を発信する講演会を開催します。

1. 日時

令和4年12月18日（日） 13：00～17：30

2. 会場

群馬会館2階ホール（前橋市大手町2-1-1）

3. 目的

- (1) 調査に関わった建築学や歴史学の研究者の講演を通して、群馬県内の寺社建築の歴史的特徴を明らかにして、寺社にまつわる文化遺産の継承を考え、県民の誇りの醸成につなげます。
- (2) 寺社が地域社会に果たしてきた役割を再認識するとともに、寺社建築から地域文化の未来を探ります。

※講演の様子は、後日、動画ポータルサイト「tsulunos」から配信する予定です。

4. 定員

400名（申込み不要、先着順、入場無料）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



装飾建築の美
再発見！

ぐんまの寺社魅力発掘・発信事業 調査完了記念講演会

— 寺社建築から地域文化の未来を探る —



2022年12月18日(日) 13:00~17:30

入場無料・事前申込み不要

会場

群馬会館2階ホール

主催／群馬県

群馬県内には江戸時代を中心とした寺院・神社の建築が数多く残されており、この時代は彫刻や彩色などを代表とする装飾が発達していきますが、群馬県内の寺社では、戦国時代から江戸時代の後期を通して、装飾の発展過程や移り変わりを間近に見ることができます。

今回の講演会では、建築学や歴史学の研究の講演を通して、群馬県内の寺社建築の歴史的特徴を明らかにするとともに群馬近世寺社総合調査の成果を発信し、寺社にまつわる文化遺産の継承を考えます。

そして、寺社が地域社会に果たしてきた役割を問い直し、寺社建築から地域文化の未来を探ります。

プログラム

13:00～13:05	開会行事（挨拶）
	趣旨説明
13:05～13:15	趣旨説明 ぐんまの寺社魅力発掘・発信事業の取組について 群馬県地域創生部文化財保護課 主幹 小林 正
第1部 国内外の宗教建築の保護	
13:15～13:35	講演1 地域資源の発掘と宗教建築の保存の課題－英国の経験－ 東京家政学院大学 教授 大橋 竜太 氏
13:35～14:55	講演2 近世寺社建築の保護の動向－近年の文化財指定を通じて－ 東京藝術大学大学院 教授 上野 勝久 氏
14:55～15:05	休憩
第2部 寺社を取りまく多様な文化	
15:05～15:30	講演3 近世駆込寺と地域社会 東京大学 名誉教授 佐藤 孝之 氏
15:30～15:55	講演4 寺社の近代化－廃仏毀釈と神社合併－ 国文学研究資料館 名誉教授 丑木 幸男 氏
15:55～16:05	休憩
第3部 群馬県の近世寺社建築	
16:05～16:40	講演5 群馬県の寺社建築 横浜国立大学 教授 大野 敏 氏
16:40～17:15	講演6 群馬県の寺社建築の工匠 前橋工科大学 客員教授 村田 敬一 氏
17:15～17:25	質疑応答
17:25～17:30	閉会行事



駐車場は県庁県民駐車場を御利用ください

会場 群馬会館
(前橋市大手町二丁目1番1号)

お問い合わせ
群馬県地域創生部文化財保護課
TEL.027-897-2925